

消化器科 学会参加報告

2025年7月4日 ①第219回 日本消化器病学会東北支部例会

7月5日 ②第174回 日本内視鏡学会東北支部例会

会場：弘前文化センター

参加者：藤森（研修医）、関根、菊地、藁谷

発表演題

- | | |
|----|---|
| 藤森 | ②「PTP 包装シート誤飲の内視鏡下摘出に Endo Flower が有効だった1例」 |
| 関根 | ①「高度黄疸を伴う肝障害に対し、RECAM-J 2023 が薬剤性の診断に有用だった1例」 |
| 菊地 | ①「当院の急性胆嚢炎に対する保存的治療についての検討」 |
| 藁谷 | ② 研修医セッション3 座長 |



プレナリー
セッション



演者



下準備



座長

弘前で開催された東北地方の消化器関連学会に参加してきました。初期研修医1年目の藤森先生は、研修医プレナリーセッションという大舞台上、発表だけでなく質疑も堂々と答えておりました。優秀賞にあと一步届かずでしたが、下準備を入念に行った感が出ており、医師開始3か月でよい経験ができたと思っております。

関根先生はRECAM-Jという新基準を用いた薬剤性肝障害について発表、菊地先生は多変量解析という統計を用いた胆嚢炎の穿刺について発表し、後輩への貫禄をみせてくれたと思います。消化器科不在中、病棟を支えてくれた古木先生、およびバックアップにまわっていただいた谷先生をはじめ循環器の先生方、また様々なサポートをしていただいた病院の方々に厚く御礼を申し上げます。

作成：藁谷